

戦 評 用 紙

平成26年度 関東高等学校バスケットボール大会 埼玉県予選大会

会 場 越谷市立総合体育館
対 戦 Fコート 第1試合 女子

平成 26年 5月17日

正智深谷高校	39	$\left\{ \begin{array}{l} 9 - 27 \\ 14 - 21 \\ 9 - 19 \\ 7 - 14 \end{array} \right\}$	81	埼玉栄高校
--------	----	---	----	-------

共に関東大会出場を果たし、Aブロック進出を賭けた両チームの対戦となった。双方マンツーマンでスタート。

栄センター # 14にボールを集め、そこを起点とした内外角バランスのとれたオフェンスを展開し得点を重ねていく。

一方の正智パスミスを連発してしまい、なかなかペースが掴めない。残り5分、13対6とリードされたところでタイム

アウト。 # 4 が果敢にゴールに向かうもカウントには至らない。栄 # 5 がオフェンスリバウンドをよく頑

張り3連続ゴール。その差を18点と伸ばし試合の主導権を握る。 第1ピリオド終了、正智9 - 27栄。

第2ピリオド開始早々、正智 # 11 が速攻からのレイアップ・3Pを沈め、インサイドでは # 18も頑張りをみせシュー

トを決める。しかしながら栄のスピード感溢れるオフェンスはとどまることを知らず、着実に得点を重ねていく

。栄残り5分でスターティングメンバーを全員ベンチに下げる。正智 # 14 に替わりコートに立った # 1

8がジャンプシュートを決める。栄 # 7の3P、 # 15のジャンプシュートがよく決まり正智を引き離しにかかる。

第2ピリオド終了、正智23 - 48栄。

25点の大量リードを手にした栄、スタートメンバーに戻し第3ピリオド開始。正智センター # 18にボールを集め

ゴールをねらうもダブルチームで守られ、タフショットになってしまう。対する栄 # 14のゴール下での卓越したステップ

ワークが冴えわたり、次々にシュートを沈めていく。残り5分で正智タイムアウトをとるもペースが掴めず、栄の寄りの

速いディフェンスに翻弄されるばかりであった。ベンチスタートメンバーそれぞれが自らの役割をきっちりこなし、得点を

伸ばしていく。第3ピリオド終了、正智32 - 67栄。

最終ピリオドに入っても栄ペースでゲームは進行する。栄 # 15、12がオフェンスリバウンドからの

セカンドチャンスをよく決める。一方の正智 # 7が一人気を吐き連続してジャンプシュートを決めるも残り4分で負傷退

場を喫する。試合はそのまま42点差で栄が勝利。栄のオフェンスリバウンドの強さ、ディフェンスの速さ、さらには選

の厚さが際だった試合であった。試合終了、正智39 - 81栄。

(記録者:越谷北高校 永江健一)